

令和 6 年度

授業シラバス・
年間指導計画

英語

(2 年)

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科2年 シラバス

教科名	科目名（科目名称）	単位数	教科書
英語	英語コミュニケーションⅡ (Ⅱ 英語Ⅱ)	3	教科書: LANDMARK Communication English (1) (各単元) 副教材: 教科書伴読ワークブック(各単元)

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらを結び付いた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。（主体性）
--------	--

授業形態 アドバイス など	Ⅱ コースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅡの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年次で学習した内容で理解できていないところがあると英語コミュニケーションⅡではたからないところが増えると思います。復習も必ず必要です。音読をしっかりしましょう。また、提出物は期限を守ってください。そのためには、計画的な取り組みが必要です。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
育てたい資質・能力（学習・思考・表現）	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に取り上げ、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	関心の「多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に進み出す力
主な評価方法	①定期考査 ②課題考査 ③小テスト ④授業・発表内容の観察 ⑤授業ノート・提出課題の点検	①定期考査 ②課題考査 ③小テスト ④授業・発表内容の観察 ⑤授業ノート・提出課題の点検	①授業・発表態度の観察 ②プレゼンテーションの観察 ③提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通期	L1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan	文章を通して単語になる分詞のSVOCと構文になる分詞のSVOCの意味や構文を理解する。海外の視点から見た日本の不思議について書かれた文章を読み、概要を把握することができる。	自分が覚いた日本文化について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	海外の視点から見た日本の不思議について自分の考えを話して伝えることが出来るようにする。
	L2 A Message from the Emperor Penguins	文章を通して比較級の表現や未来完了形、比較を用いた構文の意味や構文を理解する。ペンギンの生態について必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	気候変動の影響により絶滅の危機にある動物について意見交換をする。自分の意見を論理的に言いつて伝えることができる。	自分の関心のある動物とその動物から学んだことについて自分の考えを話して伝えることが出来るようにする。
	L4 Seeds for the Future	文章を通して付帯状況を表す with 100% や使役動詞の意味や構文について理解する。種の保全のための取り組みについて様々な意見の長点を把握することができる。	固定種の利点について3品種と比較しながら、自分の意見を伝え合うことができる。	日本の食料自給率について自分の考えを話して伝えることが出来るようにする。
	L5 Language Change over Time	文章を通して、that の意味や構文を理解する。時間とともに変化することについて、長点を把握することができる。	英語または日本語における言葉の変化の実例について情報や考えを伝える要素が書ける。	英語または日本語における言葉の変化の実例について自分の考えを伝えることが出来るようにする。
	L6 Goud and His Messenger	文章を通して、受動形、分詞構文やif を使わない仮定法の意味や構文を理解する。ガウデンと外伝さんについて書かれた文章を読み、長点を把握することができる。	ガウデンと外伝さんについて自分の考えを書いて伝えることができる。	ガウティと外伝さんについて自分の考えを伝えることが出来るようにする。
	L7 Letters from the Battlefield	文章を通して副詞節を導く関係代名詞や完了不定詞の意味や構文を理解する。戦場からの手紙について必要な情報を読み取り、概要を把握することができる。	戦場からの手紙について書かれた文章を読んだ感想について自分の考えを伝え合うことができる。	戦場からの手紙について書かれた文章を読んだ感想について自分の考えを伝え合うことが出来るようにする。
	L8 Eco: A Sustainable Society	文章を通して、注意すべき関係代名詞の用法や独立分詞構文の意味や構文を理解する。江戸時代の持続可能な社会について書かれた文章を読んで概要を把握することができる。	製品の再利用の具体例について、自分の意見を伝え合うことができる。	日常生活の中で「もったいない」と思うことについて、自分の意見を伝え合うことが出来るようにする。

	L9 Biodiesel Adventure: From Global to Global L10 Our Future with AI	文章を読み、完了形の分詞構文や強調構文の意味や構造を理解する。山田国生さんの取り組みについて書かれた文章を読み、要点を把握することができる。 文章を読み、過去についての推量や as if を使った仮定法の意味や働きを理解する。AI とその活用について書かれた文章を読み、必要な情報を読み取り概要を把握することができる。	日本のエネルギー消費における問題点とその解決法について自分の考えを伝え合うことができる。 人間とAIの共存のためにどのような法律が必要かについて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。	山田国生さんの意見について自分の考えを伝え合うことができるようにする。 AI と今後の将来について、自分の考えや気持ちを伝え合うことができるようにする。
備考				

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科2年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
英語	英語コミュニケーションⅡ （英コミュ）	3	教科書 LANDMARK Communication English 11〔啓林館〕 副教材・教材関連ワークブック〔啓林館〕 NEW TREASURE ENGLISH JERIES SIDE A（金出版社）

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらをつなぎ付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したりにえ合ったりするコミュニケーションを促す資質・能力を養う。 ① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことに基づいて、自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。（主体性）
--------	--

授業形態 アドバイス など	R コースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅡの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年次に身につけたことを土台にして、少し長めの文を論理的に読むことを大切にしましょう。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。
習得している学習・能力との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に振り返り、判断する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	活動力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
L1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan	文章を通して補語になる分詞の SVOC と補語② なる分詞の SVC の意味や構造を理解する。海外の視点から見た日本の不思議について書かれた文章を読み、概要を把握することができる。	自分が属した日本文化について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	海外の視点から見た日本の不思議について自分の考えを話して伝えることができるようにする。	
NY L2 The Hero who refused to be a hero	文章を通して時制の一致や語法の意味や構造を理解する。ヒーローとは何かについて必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	ヒーローとは何か、人間としてなすべきことは何かについて意見交換をする。自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	be eager to を用いて自分のことについて書く。	
L4 Seeds for the Future	文章を通して付帯状況を表す with+O+α や使役動詞の意味や構造について理解する。種の保全のための取り組みについて様々な意見の要点を把握することができる。	野生種の利点について F1 種と比較しながら、自分の意見を伝え合うことができる。	日本の食料自給率について自分の考えを話して伝えることができるようにする。	
NTL3 Different Styles of Encouragement	文章を通して、助動詞の意味や構造を理解する。日本とアメリカの励まし方の違いについて必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	物事に疲れているときは日本・アメリカのどちらのやり方で励ましてもらいたいかについて話し合うことができる。	would rather A than B を用いて自分のことについて書く。	
L5 Language Change over Time	文章を通して、that の意味や構造を理解する。時間とともに変化する言葉について、要点を把握することができる。	英語または日本語における言葉の変化の実例について情報や考えを伝える文章が書ける。	英語または日本語における言葉の変化の実例について自分の考えを伝えることができるようにする。	
NTI 5 Curling —Chess on Ice	文章を通して、不定詞の意味や構造を理解する。カーリングの歴史とルールについて必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	何のスポーツをやったのかについて、自分の意見を述べることができる。	come to do を用いて自分のことについて書く。	
L6 Gaudi and His Messenger	文章を通して、受動構文や if を使わない仮定法の意味や構造を理解する。ガウディと外尾さんについて書かれた文章を読み、要点を把握することができる。	ガウディと外尾さんについて自分の考えを書いて伝えることができる。	ガウディと外尾さんについて自分の考えを伝えることができるようにする。	

NTL6 Pick Up Golden Nuggets of Opportunities	文章を通して、動名詞の意味や構述を理解する。成功を収めた著者のエッセイを読み、概要を把握することができる。	将来やりたいことを実現するためにどんな行動をとるつもりか、自分の考えを書いて表現することができる。	I never ...without ...を使って自分のことについて書く。
L7 Letters from a Battlefield	文章を通して副詞節を導く複合関係代名詞や完了不定詞の意味や構述を理解する。戦場からの手紙について必要な情報を読み取り、概要を把握することができる。	戦場からの手紙について書かれた文章を読んだ感想について自分の考えを伝え合うことができる。	戦場からの手紙について書かれた文章を読んだ感想について自分の考えを伝え合うことができるようにする。
NTL8 False Faces	文章を通して、関係詞の意味や構述を理解する。錯視の解説から始めて思い込みの危険さを理解することができる。	間違った思い込みによって誤りをしたことがあるかについて話し合うことができる。	take ... for granted を用いて自分のことについて書く。
L9 Biodiesel Adventure: From Global to Global	文章を読み、完了形の名詞構文や強調構文の意味や構述を理解する。山田周生さんの取り組みについて書かれた文章を読み、要点を把握することができる。	日本のエネルギー消費における問題点とその解決法について自分の考えを伝え合うことができる。	山田周生さんの意見について自分の考えを伝え合うことができるようにする。
L10 Our Future with AI	文章を読み、過去についての推量や as if を使った仮定法の意味や働きを理解する。AI とその活用について書かれた文章を読み、必要な情報を読み取り概要を把握することができる。	人間とAIの共存のためにどのような法律が必要かについて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。	AI と今後の将来について、自分の考えや気持ちを伝え合うことができるようにする。
備考			

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 理数科2年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
英語	英語コミュニケーションⅡ (L 英コミュ)	2	教科書: LANDMARK Communication English II [啓林館] 副教材: 教科書準拠ワークブック [啓林館]

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の 5 つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 (1) 外国語の 4 技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） (2) 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） (3) 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。（主体性）
--------	--

授業形態 アドバイス など	し コースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅡの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年次で学習した内容で理解できていないところがあると英語コミュニケーションⅡではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。宿題をしっかりとしましょう。また、提出物は期限を守ってください。そのためには、計画的な取り組みが必要です。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の 4 技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている、外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
見たい生徒の 「資 能」 との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とともにコミュニケーションをとり協力する力 資力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な 評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○グループワークの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通期	L1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan	文章を通して補語になる分詞の SVOC と補語型なる分詞の SVC の意味や構造を理解する。海外の視点から見た日本の不思議について書かれた文章を読み、概要を把握することができる。	自分が驚いた日本文化について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	海外の視点から見た日本の不思議について自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	L2 A Message from the Emperor Penguins	文章を通して比較級表現や未来完了形、比較を用いた構文の意味や構造を理解する。ペンギンの生態について必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	気候変動の影響により経済の危機にある動物について意見交換をする。自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	自分の関心のある動物とその動物から学んだことについて自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	L4 Seeds for the Future	文章を通して付帯状況を表す with+O+u や使役動詞の意味や構造について理解する。種の保全のための取り組みについて様々な意見の要点を把握することができる。	固定種の利点について F1 種と比較しながら、自分の意見を伝え合うことができる。	日本の食料自給率について自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	L6 Gaudi and His Messenger	文章を通して、受動態の分詞構文や if を使わない仮定法の意味や構造を理解する。ガウディと外尾さんについて書かれた文章を読み、要点を把握することができる。	ガウディと外尾さんについて自分の考えを書いて伝えることができる。	ガウディと外尾さんについて自分の考えを伝えることができるようにする。
	L9 Biodiesel Adventure: From Global to Global	文章を読み、完了形の分詞構文や強調構文の意味や構造を理解する。山田周すさんの取り組みについて書かれた文章を読み、要点を把握することができる。	日本のエネルギー消費における問題点とその解決法について自分の考えを伝え合うことができる。	山田周すさんの意見について自分の考えを伝え合うことができるようにする。
	L10 Our Future with AI	文章を読み、過去についての推量や as if を使った仮定法の意味や働きを理解する。AI とその活用について書かれた文章を読み、必要な情報を読み取り概要を把握することができる。	人間と AI の共存のためにどのような法策が必要かについて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。	AI と今後の将来について、自分の考えや気持ちを伝え合うことができるようにする。
備考				

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 理数科2年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単元数	教科書
英語	英語コミュニケーションⅡ (英コミュ)	2	教科書：LANDMARK Communication English 11〔数林館〕 副教材：教科書連携ワークブック〔数林館〕 NHW「FRAME ENGLISH SERIES STAGE 4」2巻（数林館）

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらと結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを司る資質・能力を養う。 ① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③ 外国語の音聲にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。（主体性）
--------	--

授業形態 アドバイス など	Rコースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅡの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年次に身につけたことを二回に亘り、少し長めの文を論理的に読むことを大切にしましょう。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守ってください。そのためには、計画的な取り組みが必要です。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	外国語の音聲にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。
養育目標 (学習・参加 との関係)	成長力：幅広い成長と評価発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に振り返り・創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協調力：多様な他者とコミュニケーションをより協力する力 実行力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	①定期考査 ②課題考査 ③ワークシート ④授業・発表内容の観察 ⑤授業ノート・提出課題の点検	①定期考査 ②課題考査 ③ワークシート ④授業・発表内容の観察 ⑤授業ノート・提出課題の点検	①授業・発表態度の観察 ②プレゼンテーションの観察 ③振り返り課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組み、態度
L1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan	文章を通して精読になる 分詞の SVC と精読になる 分詞の SVC の意味や 構造を理解する。海外の 視点から見た日本の不思議 について書かれた文章 を読み、概要を把握するこ とができる。	自分が驚いた日本文化につい て、読んだことを基に、話したり書 いたりして表現することができる。	海外の視点から見た日本 の不思議について自分の 考えを話して伝えることが できるようにする。	
NT L2 The Hero who refused to be a hero	文章を通して絵画の一場 や話法の意味や構造を理 解する。ヒーローとは何か について必要な情報を聞 いたり、読んだりして、概要 を把握することができる。	ヒーローとは何か、人間としてな すべきことは何かについて意見 交換をする。自分の意見を論理 的に書いて伝えることができる。	be eager to を用いて自 分のことについて書く。	
L4 Seeds for the Future	文章を通して付帯状況を 表す with の use や使役 動詞の意味や構造につい て理解する。種の保全の ための取り組みについて 様々な意見の要点を把握 することができる。	固定種の利点について F1 種と比較しながら、自 分の意見を伝え合うこと ができる。	日本の食料自給率につい て自分の考えを話して伝 えることができるようにす る。	
NTL3 Different Styles of Encouragement	文章を通して、助動詞の 意味や構造を理解する。 日本とアメリカの励まし方 の違いについて必要な情 報を聞いたり、読んだりし て、概要を把握することが できる。	勉強に疲れているときは 日本・アメリカのどちらの やり方で励ましてもらいた いかについて話し合うこと ができる。	would rather A than B を用いて自分のことにつ いて書く。	
NTL5 Curling —Chess on Ice	文章を通して、不定詞の 意味や構造を理解する。 カーリングの歴史とルール について必要な情報を聞 いたり、読んだりして、概要 を把握することができる。	何のスポーツをやってみた いかについて、自分の意 見を述べることができる。	came to do を用いて自 分のことについて書く。	
L6 Gaudi and His Messenger	文章を通して、受動形の 分詞構文や if を使わない 仮定法の意味や構造を理 解する。ガウディと外尾さ んについて書かれた文章 を読み、要点を把握するこ とができる。	ガウディと外尾さんについ て自分の考えを書いて伝 えることができる。	ガウディと外尾さんにつ いて自分の考えを伝えるこ とができるようにする。	
NTL6 Pick Up Golden Nuggets of Opportunities	文章を通して、動名詞の 意味や構造を理解する。 成功を収めた若者のユ ー・ヒョを読み、概要を把握 することができる。	将来やりたいことを実現するた めどんな行動をとるつもりか、自 分の考えを書いて表現すること ができる。	I never give up ... を使って自分のことにつ いて書く。	

L7 Letters from a Battlefield	文章を通して副詞節を導入し、関係代名詞や先行不定詞の意味や構造を理解する。戦場からの手紙について必要な情報を読み取り、概要を把握することができる。	戦場からの手紙について書かれた文章を読んだ感想について自分の考えを伝え合うことができる。	戦場からの手紙について書かれた文章を読んだ感想について自分の考えを伝え合うことができるようにする。
NTLB False Faces	文章を通して、関係詞の意味や構造を理解する。視覚の解説から始めて思い込みの危険性を理解することができる。	関連した思い込みによって誤りをしたことがあるかについて話し合うことができる。	take ~ for granted を用いて自分のことについて書く。
L10 Our Future with AI	文章を読み、過去についての推量や as if を使った仮定法の意味や働きを理解する。AI とその活用について書かれた文章を読み、必要な情報を読み取り概要を把握することができる。	人間と AI の共存のためにどのような法律が必要かについて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。	AI と今後の将来について、自分の考えや気持ちを伝え合うことができるようにする。
備考			

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科2年 シラバス

教科名	科目名（校内科目）	単位数	教 材
英語	英語コミュニケーションⅢ （英コミⅢ）	1	教科書:LANDMARK Communication English Ⅲ(学研版) 副教科:教科書準拠ワークブック(啓林館)

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらを活用した統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③ 外国語の習得にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。（主体性）
--------	---

授業形態 下駄箱など	本コースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅢの授業は、2年次前期で学習した内容をさらに発展させたもので、3年次に学習する内容を先取りします。2年次前期で学習した内容で理解できていないところがあると英語コミュニケーションⅢではわからないところが増えてしまいます。学習も必ず必要です。音読をしっかりし、よく、また、提出物は期日を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。
---------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習し、取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている、外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
育たたい資質・能力（資質・能力）との関係	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に振り返り、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力をする力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○全学考査 ○課題考査 ○ケース ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
後期	L1 Caffeine: The World's Favorite Drug	さまざまな飲食物に含まれるカフェインの利点と欠点について書かれた文章を読んで、概要を把握することができる。	さまざまな飲食物に含まれるカフェインの利点と欠点について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	さまざまな飲食物に含まれるカフェインの利点と欠点について、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	L2 Blood is Blood	輸血技術の向上に貢献した黒人科学者の生涯について説明した文章を読んで、概要を把握することができる。	輸血技術の向上に貢献した黒人科学者の生涯について意見交換ができる。また、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	輸血技術の向上に貢献した黒人科学者の生涯について、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	L3 Australia and its Creatures	オーストラリアの地形や独自の動植物について説明した文章を読んで、情報を把握することができる。	オーストラリアの地形や独自の動植物について説明した文章を読んで、情報や考えを論理的に伝え合うことができる。	オーストラリアの地形や独自の動植物について説明した文章を読んで、自分の考えを効果的に発表することができる。
	L4 The \$100,000 Salt and Pepper Shaker	子ども時代の経験を基に、長い目で見た損益について述べられた文章を読んで、内容を理解することができる。	子ども時代の経験を基に、長い目で見た損益について述べられた文章を読んで、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	子ども時代の経験を基に、長い目で見た損益について、自分の考えを積極的に相手に伝えることができるようにする。
備考				

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科2年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教科書
英語	英語コミュニケーションⅢ (R 英コミュ)	1	教科書 LANDMARK Communication English Ⅲ [登林館] 副教材:教科書準拠ワークブック[登林館] NHK WORLD ENGLISH SERIES STAGE 4 (文芸春秋)

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下のうちの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションに関与する資質・能力を養う。 (1) 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能) (2) 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力) (3) 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)
--------	--

授業形態 アドバイス など	R コースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅢの授業は、2年次前期で学習した内容をさらに発展させたもので、3年次に学習する内容を先取りします。2年次前期で学習した内容が理解できていないところがあると英語コミュニケーションⅢではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。音読をしっかりとしましょう。また、提出物は期限を守ってください。そのためには、計画的な取り組みが必要です。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
育てたい資質 (資質・能力) との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に振り返り、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な 評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
後期	L1 Caffeine: The World's Favorite Drug	さまざまな飲食物に含まれるカフェインの利点と欠点について書かれた文章を読んで、概要を把握することができる。	さまざまな飲食物に含まれるカフェインの利点と欠点について、読んだことを基に、語ったり書いたりして表現することができる。	さまざまな飲食物に含まれるカフェインの利点と欠点について、自分の考えを語って伝えることができるようにする。
	L2 Blood is Blood	輸血技術の向上に貢献した黒人科学者の生涯について説明した文章を読んで、概要を把握することができる。	輸血技術の向上に貢献した黒人科学者の生涯について意見交換ができる。また、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	輸血技術の向上に貢献した黒人科学者の生涯について、自分の考えを語って伝えることができるようにする。
	NT19 Pitfall in Speech	文章を通して、種合関係詞と種合関係代名詞の用法を理解する。コミュニケーションにおいて、誤解を避けるために必要な言葉の選び方について必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	コミュニケーションにおいて、誤解を避けるために必要な言葉の選び方について、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	take ~ for granted を用いて、自分が今まで当たり前と考えていたが、実は違うことについて、書いて伝えることができる。
	L3 Australia and its Creatures	オーストラリアの地形や独自の動植物について説明した文章を読んで、概要を把握することができる。	オーストラリアの地形や独自の動植物について説明した文章を読んで、情報や考えを論理的に伝え合うことができる。	オーストラリアの地形や独自の動植物について説明した文章を読んで、自分の考えを結果的に発表することができる。
	L4 The \$100,000 Suit and Pepper Shaker	子ども時代の経験を基に、長い目で見た損益について述べられた文章を読んで、内容を理解することができる。	子ども時代の経験を基に、長い目で見た損益について述べられた文章を読んで、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	子ども時代の経験を基に、長い目で見た損益について、自分の考えを積極的に相手に伝えることができるようにする。
	NT L10 The History of Maps	文章を通して、様々な比較表現用法を理解する。人間の世界観を反映する地図の発達と、地図の観点から整理し直した歴史について、必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	人間の世界観を反映する地図の発達と、地図の観点から整理し直した歴史について、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	allow ~ to do を用いて、自分の生活において受けている恩恵について書くことができる。
備考				

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科2年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教科書
英語	論理表現Ⅱ （I 論表）	2	教科書 [e-English Logic and Expression II]（イ・エヌ） 副教材 教科書準拠ワークブック（イ・エヌ）

学習のねらい	「論理・表現Ⅱ」の学習内容を踏まえ、「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした総合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることのできる能力を養う。 具体的な活動と領域は以下の通り。 （1）話すこと〔やり取り〕 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようになる。 （2）話すこと〔発表〕 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようになる。 （3）書くこと 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して論理的な段落から成る文章（詳しく書いて伝えることができるようになる）
--------	---

授業形態 アドバイス など	1コースの授業です。3年次の論理表現Ⅱの授業は、2年次で学んだ内容より、発展させたものです。1年次までに学習した内容（文法・単語など）で理解できていないところがあると論理表現Ⅱでは表現活動が限られてしまいます。復習も必ず必要です。日本語を正しい表現を使って英語に直せる力もつけましょう。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。 〔技能〕 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。	目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。	外国語の学習にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。
身に付けたい学習・思考力の関わり	技能力：幅広い敬意と課題発見・解決のための知識・技術	思考力：論理的に考え、批判的に受けとめ、創造する力 表現力：思考・判断の結果や感情をわかりやすく伝える力	意欲力：様々な他者とコミュニケーションを図り協力をする力 省察力：自分の活動を振り返り改善し前に踏み出す力

主な 評価方法	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検	○実地考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○ペアワーク・プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検
評価の観点			
① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度	
習得すべき知識や技能の概略を理解している。それらを既習の知識及び技能と関連付けたり応用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得しようとしている。	知識及び技能を基として課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を養育したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けようとする中に自らの力が強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。	

学 期	月	レッスン名	評価のポイント	① ☒	② ☒	③ ☒	評価方法	考 査
通 期	4 月	Lesson 1 Your Interests	【教材】 趣味・クラブ活動 【教材に関するタスク】 ・趣味やクラブ活動に関する文章を読みながら問いかけし理解する。 ・趣味やクラブ活動のルールが記したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・動詞の活用について学ぶ理解する。 ・時や状況に応じて動詞の活用を正しく使う。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 筆記評価 C. 課題提出 D. 定期考査	1 学 期 中 間 考 査
	5 月	Lesson 2 Your Daily Life	【教材】 日常生活 【教材に関するタスク】 ・日常生活に関する文章を読みながら問いかけし理解する。 ・日常生活に関する語句を、文章を書いたりする。 【文法】 ・不定詞（名詞用法）を使う。・名詞節（関係詞）を理解する。 ・伝えたいことに応じて、不定詞・名詞節・名詞節を使う。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 筆記評価 C. 課題提出 D. 定期考査	

学 期	月	レッスン名	評価のポイント	① ✓	② ✓	③ ✓	評価方法	考 査
		Lesson 3 Your School Life	【題材】 学校生活 【題材に関するタスク】 ・学校生活に関する文章を読みだり聞いたりして理解する。 ・学校生活について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・助動詞について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて、助動詞を正しく使う。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
		6 月	【タスク】 ・与えられた状況に合うスクリプトを、想像力をはたらかせて書く。 ・スクリプトを表情や身ぶりなど駆使して、ペアになって演じる。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
		Lesson 4 Media Literacy	【題材】 ノーシャルメディア 【題材に関するタスク】 ・ノーシャルメディアに関する文章を読みだり聞いたりして理解する。 ・ノーシャルメディアについて話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・形容詞の比較級や最高級の形容詞用法について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて、適切な形容詞を用いて文を作る。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
		7 月	【題材】 ボランティア活動 【題材に関するタスク】 ・ボランティア活動に関する文章を読みだり聞いたりして理解する。 ・ボランティア活動について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・とどろきや表現を使った形容詞について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて、適切な形容詞を用いて文を作る。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
		Lesson 5 Introducing Your Town	【題材】 自分の住む町や地域				A. 授業観察 B. 発話評価	1 学期期末考査

学 期	月	レッスン名	評価のポイント	① ✓	② ✓	③ ✓	評価方法	考 査
			【題材に関するタスク】 ・自分の住む町や地域についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・自分の住む町や地域について語ったり、文章を書いたりする。 【文法】 ・関係代名詞・関係副詞について学んで理解する。 ・関係代名詞・関係副詞を用いて文を作る。	☐	☐	☐	C. 課題提出 D. 定期考査	
		スピーチをしてみよう！	【タスク】 ・スピーチ原稿をつくるための基本的な構成方法や、スピーチをする際に求められる態度を理解する。 ・スピーチ原稿を声に出して読んだり、実際にスピーチしたりする。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
	9 月	Lesson 7 Languages of the World	【題材】 世界の言語 【題材に関するタスク】 ・世界の言語についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・世界の言語について語ったり、文章を書いたりする。 【文法】 ・副詞の用法について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて、適切な副詞を用いて文を作る。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	2 学 期 中 間 考 査
		Lesson 8 Imagining the Future	【題材】 想像 【題材に関するタスク】 ・想像についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・想像について語ったり、文章を書いたりする。 【文法】 ・不定詞（副詞用法）・分詞について学んで理解する。 ・伝えたい意味に合う不定詞・分詞を正しく使う。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
10 月		Lesson 9 Happiness and Stress	【題材】 幸福・ストレス 【題材に関するタスク】	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出	

学 期	月	レッスン名	評価のポイント	① ✓	② ✓	③ ✓	評価方法	考 査
			・幸福・ストレスについて英文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・幸福・ストレスについて話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・さまざまな意味を表す副詞節について本気で理解する。 ・伝えたい意味に応じて適切な副詞節を用いて文を作る。	☐	☐	☐	D. 定期考査	
		プレゼンテーションをしてみよう!	【タスク】 ・プレゼンテーションによく用いられる表現方法を理解する。 ・プレゼンテーションの例を声に出して読んだり、実際にプレゼンテーションしたりする。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
		Lesson 10 Comparing Countries	【題材】 データの比較 【題材に関するタスク】 ・各国のデータ比較についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・各国のデータ比較について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・原級・比較級・最上級を使う比較について本気で理解する。 ・原級・比較級・最上級を用いて文を作る。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
11 月		Lesson 11 Cultural Diversity	【題材】 文化の多様性 【題材に関するタスク】 ・文化の多様性についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・文化の多様性について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・仮定法について本気で理解する。 ・仮定法の表現を用いて文を作る。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
		Lesson 12 Japanese Customs	【題材】 日本の文化 【題材に関するタスク】 ・日本の文化についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・日本の文化について話したり、文章を書いたりする。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	

学 期	月	レッスン名	評価のポイント	① ✓	② ✓	③ ✓	評価方法	考 査
			【文法】 ・要求や必要、認識を表す表現・時制の一致・語法に力を入れて理解する。 ・要求や必要、認識を表す表現・時制の一致・語法を用いて文を作る。	☐	☐	☐		
		12月 ディベートをしてみよう!	【タスク】 ・ディベートの形式や、基本的なルールを理解する。 ・肯定と否定の立場で意見を述べる。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
		Lesson 13 Population Issues	【題材】 人口問題 【題材に関するタスク】 ・人口問題についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・人口問題について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・存在や変化の表現について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて、存在や変化、「～がかかる」という表現を正しく用いて文を作る。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	2学期 模 試 考 査
	1月	Lesson 14 Rights and Equality	【題材】 権利と平等 【題材に関するタスク】 ・権利と平等についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・権利と平等について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・使役動詞・知覚動詞について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて、使役動詞・知覚動詞を用いて文を作る。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
	2月	Lesson 15 Think Globally, Act Locally	【題材】 世界の問題 【題材に関するタスク】 ・世界の問題についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・世界の問題について話したり、文章を書いたりする。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	

学 期	月	レッスン名	評価のポイント	① ✓	② ✓	③ ✓	評価方法	考 査
			【文法】 ・日本語と英語の表現の違いを十分に理解する。 ・英文の構文や単語の活用を正確に理解する。	二 	一 	一 		3 学期 期末 考査
		プレゼンテーションの作成	【リスニング】 ・音声を聞き取り、内容を正確に理解する。 ・音声を聞き取り、内容を正確に理解する。	二 	一 	一 	A. 1. 聴き取り B. 2. 聴き取り C. 3. 聴き取り D. 4. 聴き取り	
		プレゼンテーションの作成	【スピーキング】 ・プレゼンテーションの作成能力を高める。 ・プレゼンテーションの作成能力を高める。	二 	一 	一 	A. 1. 聴き取り B. 2. 聴き取り C. 3. 聴き取り D. 4. 聴き取り	

学年の評価方法

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

上記の3つの観点から表した成績から総合的に判断して、年間の評価とする。

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科2年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
英語	論理表現II (R 論表)	2	教科書:be English Logic and Expression II [「いづろ」] 副教材:エッセイ集[iml 2016]

学習のねらい	「論理・表現I」の学習内容を踏まえ、「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な英語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動に行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができるようになる。 具体的な活動と領域は以下の通り。 (1) 話すこと[やり取り] 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支度を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようにする。 (2) 話すこと[発表] 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支度を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。 (3) 書くこと 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支度を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して適切な段組みから成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。
--------	--

授業形態 アドバイス など	本コースの授業です。3年次の論理表現IIの授業は、2年次で学習した内容をさらに発展させたものです。1年次までに学習した内容（文法・構文など）を理解できていないところがあると論理表現IIでは表現活動が求められると思います。授業も必ず必要です。日本語を正しい表現を使って英語に直せる力をつけましょう。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え	〔知識〕 英語の特徴やきまり、間する多量及びその働きや役割を理解している。 〔技能〕 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いて伝えたりして伝え合ったりすることができる技能を身に付けている。	目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いて伝えたりして伝え合っている。	外国語の習得にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。
育てたい生徒 の姿（長所） との関係	教養力・幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力・論理的に考え、批判的に読み下し、創造する力 表現力・思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協調力:多様な他者とコミュニケーションをとる力 省察力:自分の行動を振り返り改善し、前向きな力

主な 評価方法	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○ペアワーク・プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検
	評価の観点		
① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度	
習得すべき知識や技能の概念等を理解している。それらを既知の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を運用したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学びを調整しようとしている。	

学 期	月	レッスン名	評価のポイント	① ☒	② ☒	③ ☒	評価方法	考 査
通 期	4 月	Lesson 1 Your Interests	【題材】 趣味・クラブ活動 【題材に関するタスク】 ・趣味やクラブ活動に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・趣味やクラブ活動について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・動詞の時制について学んで理解する。 ・時や状況に応じて動詞の時制を正しく使う。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	1 学 期 中 間 考 査
	5 月	Lesson 2 Your Daily Life	【題材】 日常生活 【題材に関するタスク】 ・日常生活に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・日常生活について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・不定形(名詞用法)・動名詞・名詞節について学んで理解する。 ・伝えたいことに応じて、不定形・動名詞・名詞節を正しく使う。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	

学 期	月	レッスン名	評価のポイント	① ✓	② ✓	③ ✓	評価方法	考 査
		Lesson 3 Your School Life	【題材】 学校生活 【題材に関するタスク】 ・学校生活に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・学校生活について貼したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・動動詞について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて、助動詞を正しく使う。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
		6 月 スクリプト・ライティングを してみよう!	【タスク】 ・与えられた状況に合うスクリプトを、想像力をはたらかせて書く。 ・スクリプトを表情や身ぶりなど駆使して、ペアになって演じる。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
		Lesson 4 Media Literacy	【題材】 ジーシャルメディア 【題材に関するタスク】 ・ソーシャルメディアに関する文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・ソーシャルメディアについて貼したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・形容詞のはかまきや分詞の形容詞用法について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて、適切な形容詞を用いて文を作る。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
		Lesson 5 Helping Others	【題材】 ボランティア活動 【題材に関するタスク】 ・ボランティア活動に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・ボランティア活動について貼したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・さまざまな表現を使った形容詞句について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて、適切な形容詞句を用いて文を作る。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	1学期期末考査
		Lesson 6 Introducing Your Town	【題材】 自分の住む町や地域	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価	

学 期	月	レッスン名	評価のポイント	① ✓	② ✓	③ ✓	評価方法	考 査
			【題材に関するタスク】 ・自分の住む町や地域についての記事を読んだり聞いたりして理解する。 ・自分の住む町や地域について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・関係代名詞・関係副詞について学んで理解する。 ・関係代名詞・関係副詞を用いて文を作る。	☐	☐	☐	C. 課題提出 D. 定期考査	
		スピーチをし「のよう」	【タスク】 ・スピーチ原稿をつくるための基本的な構成方法や、スピーチをする際に求められる態度を理解する。 ・スピーチ例を声に出して読んだり、実際にスピーチしたりする。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
9 月		Lesson 7 Languages of the World	【題材】 世界の言語 【題材に関するタスク】 ・世界の言語についての記事を読んだり聞いたりして理解する。 ・世界の言語について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・副詞のばからきについて学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて、適切な副詞を用いて文を作る。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
		Lesson 8 Imagining the Future	【題材】 想像 【題材に関するタスク】 ・想像についての記事を読んだり聞いたりして理解する。 ・想像について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・不定詞（副詞用法）・分詞について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて不定詞・分詞を正しく使う。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
	10 月	Lesson 9 Happiness and Stress	【題材】 幸福・ストレス 【題材に関するタスク】	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出	

学 期	月	レッスン名	評価のポイント	① ✓	② ✓	③ ✓	評価方法	考 査
			- 幸福・ストレスについての文章を読んだり聞いたりして理解する。 - 幸福・ストレスについて話したり、文章を書いたりする。 【文法】 - さまざまな意味を表す副詞節について学んで理解する。 - 伝えたい意味に応じて適切な副詞節を用いて文を作る。	☐	☐	☐	D. 定期考査	
		プレゼンテーションをしてみよう!	【タスク】 - プレゼンテーションによく用いられる表現方法を観察する。 - プレゼンテーションの例を声を出して読んだり、実際にプレゼンテーションしたりする。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
		Lesson 10 Comparing Countries	【題材】 データの比較 【題材に関するタスク】 - 各国のデータ比較についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 - 各国のデータ比較について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 - 原級・比較級・最上級を使う比較について学んで理解する。 - 原級・比較級・最上級を用いて文を作る。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
				☐	☐	☐		
11 月		Lesson 11 Cultural Diversity	【題材】 文化の多様性 【題材に関するタスク】 - 文化の多様性についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 - 文化の多様性について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 - 仮定法について学んで理解する。 - 仮定法が表現を用いて文を作る。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
		Lesson 12 Japanese Customs	【題材】 日本の文化 【題材に関するタスク】 - 日本の文化についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 - 日本の文化について話したり、文章を書いたりする。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	

学 期	月	レッスン名	評価のポイント	① ✓	② ✓	③ ✓	評価方法	考 査
			【文法】 ・基本や必要、認識を表す表現・時制の一致・語法について学び理解する。 ・基本や必要、認識を表す表現・時制の一致・語法を用いて文を作る。	☐	☐	☐		
	12月	ディベートをしてみよう1	【タスク】 ・ディベートの形式や、基本的なルールを理解する。 ・肯定と否定の立場で意見を述べる。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
		Lesson 13 Population Issues	【題材】 人口問題 【題材に関するタスク】 ・人口問題についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・人口問題について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・存在や変化の表現について学ぶと理解する。 ・伝えたい意味に応じて、存在や変化「～がある」という表現を正しく用いて文を作る。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	2学期期末考査
	1月	Lesson 14 Rights and Equality	【題材】 権利と平等 【題材に関するタスク】 ・権利と平等についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・権利と平等について話したり、文章を書いたりする。 【文法】 ・使役動詞・知覚動詞について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて、使役動詞・知覚動詞を用いて文を作る。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	
	2月	Lesson 15 Think Globally, Act Locally	【題材】 世界の問題 【題材に関するタスク】 ・世界の問題について多くの文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・世界の問題について話したり、文章を書いたりする。	☐	☐	☐	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査	

学 期	月	レッスン名	評価のポイント	① ✓	② ✓	③ ✓	評価方法	考 査
			【文法】 ・日本語・英語・英語的表現について学んで理解する。 ・熟語・慣用語・成語を併せて増やしていく。	☐	☐	☐		3学期期末考査
		・「オランダ」になじむこと	【タスク】 ・意見を出し合ったり、情報を交換したり、その表現方法や議論の進め方を理解する。 ・議論の利点を述べて故をもち、実際に議論したりする。	☐	☐	☐	A. 15分発表 B. 質疑応答 C. 議論進出 D. 定期考査	
		・「オランダ」を表現してみよう！	【タスク】 ・オランダの基本的な特徴や文化、生活様式を理解する。 ・オランダの特色をふまえて、実際に書いてみる。	☐	☐	☐	A. 15分発表 B. 質疑応答 C. 漢字検定 D. 定期考査	

学年の評価方法

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

上記の3つの観点から表した成績から総合的に判断して、年間の評価とする。

令和6年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科2年 シラバス

教科名	科目名（校内外名）	単位数	教 材
英語	A&E Ex.	1	Jet Reading 英語選読テキスト Level 2（数研出版） Speaking Gym Basic（数研出版）

学習の ねらい	外国語によるコミュニケーションにおける足がかり・考え方を徹せば、以下の5つの領域において言語活動及びこれらと結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ①外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ②場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを語ったり書いたりしようとしている。（主体性）
------------	---

捨棄形態 アドバイス など	普通科文系の選択科目です。知識を前提とせず、その場で辞書を使用せずに連続長文を初見読みし、実戦的な読解力を育成します。また、長文の主題に関して、ペア・ワークで意見交換をすることによって、表現力と弁論力を鍛えますので、積極的に自分の考えを英語で結ぶようにして下さい。同様に、長文の主題に関する、ハブクマフ・ライティングにも挑戦します。4技能をバランスよく伸ばしていきます。
------------------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場面・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な課題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
与えたい学習機会（授業・教材）との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に取り上げ、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○ハフィア・マンス・テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Activity 1 Lesson1 (社会/説明文)	【聞くこと】 ・場面や状況に応じた表現を知っている。	【聞くこと】 ・理解できないとき、確認したり、繰り返しや説明を求めたりしている。	【聞くこと】 ・「聞くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。
	Activity 2 Lesson2 (生活/クイズ)	・「聞くこと」に用いられる語句や文法を知っている。	・日常的な話題についての英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとしていることを正確に理解することができる。	・相手を見て話を聞いたり、必要に応じてメモを取るなど、相手の話に関心を持っている。
	Activity 3 Lesson3 (歴史/伝記)	・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。	・リズムやイントネーションなど基本的な英語の音声の特徴をとりえ、正しく聞き取ることができる。	・聞いたことについてジェスチャーや簡単なことばで応答したりしている。
	Activity 4 Lesson4 (対話/説明文)	・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や向い方を理解している。	・聞いた内容について正しく理解することができる。	・聞いた内容について意見や感想を述べようとしている。
	Activity 5 Lesson5 (動物/説明文)	・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。		・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。
	Activity 6 Lesson6 (生活/広告)		【読むこと】 ・理解できないところがある場合、推測するなどして読み続けている。	・理解できないところがある場合、推測するなどして聞き続ける。
	Activity 7 Lesson7 (教育/会話)	【読むこと】 ・読んだ内容について概要や要点を把握すること		

後期	Activity 8 Lesson 8 (科学/評論)	とができる。 ・文や文章を目的に応じて適切な速さで読み取ることができる。 ・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。 ・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。 ・文字や符号を識別する知識を身に付けている。 ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・文章の流れについての知識がある。	日常的な話題についての英語を正しく音読したり暗唱したりすることができる。 ・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。 日常的な話題についての英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読したり暗唱したりすることができる。	【読むこと】 ・「読むこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心をもっている。 ・読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。
	Activity 9 Lesson 9 (生活/エッセイ)			
	Activity 10 Lesson 10 (社会/ブログ)			
	Activity 11 Lesson 1 (文化/説明文) Lesson 2 (環境/説明文)	・「読むこと」に用いられる語句や文法を知っている。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。	【話すこと】 ・日常的な話題について英語で情報や考えなどを正しく話すことができる。 ・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、話すことができる。 ・文法に従って正しく話すことができる。 ・伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができる。 ・日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に話すことができる。 ・伝えたい内容、場面、相手、目的などに応じて語句や表現を選択し適切に話すことができる。 ・相手の発話に対して適切に応答することができる。 ・場面や目的に応じて適切な速さや声の大きさで話すことができる。 ・相手の理解を確認しそれに応じて話すことができる。	【話すこと】 ・「話すこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・間違えることを恐れず自分の考えなどを話している。 ・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って話している。 ・関心をもって質問している。 ・ペアワークやグループワークなどにおいて積極的に話し合ったり意見の交換をしている。 さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・うまく言えないことがあっても、別の語句や表現で言い換えたり、説明で伝えるなどの工夫をしている。 ・つなぎ言葉を用いるなど、不自然な沈黙をせずに話し終えている。
	Activity 12 Lesson 13 (歴史/物語) Lesson 14 (仕事/メール)			
	Activity 13 Lesson 15 (文化/評論) Lesson 16 (教育/批評)			
	Activity 14 Lesson 17 (医療/評論) Lesson 18 (社会/説明文) Lesson 19 (科学/説明文)			
	Activity 15 Lesson 20 (歴史/説明文) Lesson 21 (社会/グラフ) Lesson 22 (文化/説明文)			
		【書くこと】 ・「書くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・間違えることを恐れず自分の考えなどを書いている。 ・自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書き直したりしている。 ・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。 ・必要に応じて辞書などを	【書くこと】 ・日常的な話題について、得た情報や自分の考えを英語で正しく書くことができる。 ・文法に従って正しく書くことができる。 ・伝えたい情報や考えなどを正確に書くことができる。 ・日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に書くことができる。 ・内容を整理し、必要な分量を書くことができる。	【書くこと】 ・「書くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・間違えることを恐れず自分の考えなどを書いている。 ・自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書き直したりしている。 ・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。 ・必要に応じて辞書などを

		- き直したりしている。 ・自ら学んだ表現や道んで集めた情報などを使って書いている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・表現できないところがあるかも知っている語句や表現を用いて書き続けている。	・伝えたい内容、場面、読み手、目的などに応じて、語句や表現を選択し適切に書くことができる。 ・文のつながりや構成を考えた文章を書くことができる。	・活用している。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・表現できないところがあるかも知っている語句や表現を用いて書き続けている。
備考				